



小田原鉦石株式会社

業種 調査・分析・コンサルタント業

従業員数 14人（2025年）

URL <https://www.odawarakoseki.co.jp/>

本社所在地 神奈川県小田原市

取組の特徴

新規事業創出・エンゲージメント向上に向けて、6次産業化する林業会社への「観察研修合宿」を導入



チームビルディング 組織変革 エンゲージメント



リーダーシップ 心身の健康 SDGs

実施地域 森林サービス産業推進地域「[神奈川県小田原市地域](#)」

受入組織 [\(株\)T-FORESTRY](#)

実施概要

地元の6次産業化を取り組む林業会社を題材にした全社員参加型の「観察研修合宿」を開催。森林内での散策や対話・共有により社員同士のコミュニケーションを改善し、長期的・分野横断的な視点で6次産業化を取り組む林業会社ならの多角的経営の実例から、新たな視点・発想に気づき、全社員が共通体験を行うことで組織改革・業務改善に繋がった。

導入の経緯と決め手

- アスベスト調査分析が主業で、将来的には新事業の創出が求められるが、同一組織に長く属することで社員の視野が固定化し、自社の強み、課題を捉えにくくなるのが懸念。
- 前年、長野県内の地方創生をする企業を見学した際に、「無いものを補う」よりも「あるものを活かす」視点の重要性を認識し、地元企業への視察を企画した。
- 江戸時代から続く歴史を持ちながら、新たな視点で山林資産を多面的に活用している点に着目し、年1回で実施していた全社研修を「観察研修」として実施した



プログラムの構築とねらい・工夫

- 多角的経営を行う他社の優れた文化や仕組みを観察し、インスタ風に要約するお題を示すことで、楽しみながら自身の考えを言語化し、自社への新たな視点や改善のヒント、自社の強みの再発見を促す。（成人発達理論「垂直的成長（視座・認識の拡張）」を重視）
- さらに、それを共有してコメントを出し合うことで、他者の視点や価値観等の相互理解を促し、心理的安全性を高め、円滑なコミュニケーションと新たな発想が生まれやすい環境づくりを目指す。他者との違いを理解することで自身の「メタ認知」を促すとともに、社員一人ひとりの想像力と気づきを通じて、組織全体の活性化を図る。



プログラムの効果、担当者・参加者の声

【効果】 T-FORESTRYが俯瞰的な視点で横断的に業務遂行している姿を、経営層に加えて従業員も前向きに捉える共通体験ができたため、早速社内で部署横断の「情報チーム」を設定できた。社員の視野が広がり、全体最適の観点から組織改革・業務改善が進んだ。

【担当者の声】 「森の中で身体を動かしながら話しをすることで、視点や発想が広がった」「社員の視点の違い、捉え方の違いを感じることで、社員同士の関係性構築に繋がった」

【参加者の声】 「自分達が主体的に会社を良くしていこう」という声が聞かれるようになった。

「森のプログラム」導入事例

①観察研修合宿（全社員参加。1日のうち、半日森林活動）



プログラム事例

◆観察研修合宿（全社員参加）

- 小田原市内の企業2社を視察し、社員は以下の「3つの資本」の観点から他社が持つ文化や取組を観察し、写真を撮影しながら気づきを記録し、整理・発表・共有。
 - ①経済資本：お金や収益など、企業の経済的な要素。
 - ②関係資本：社内外の人のつながり、人間関係や信頼。
 - ③環境資本：職場環境や文化、ルール、しくみ。

日程	プログラム	ねらい・内容
午前	〈観察研修1社目〉 「Hamee社」視察	情報通信業、小売業に加え、スタートアップ支援等多角的経営を行う異業種企業の事務所・施設等を視察・質疑応答
昼	昼食	辻村山林内で昼食
午後	〈視察視察2社目〉 「T-FORESTRY」視察・質疑応答	社有林や関連施設を楽しみながらハイキング的に案内して多角的経営の取組を解説して質疑応答。 ✓ 300年の歴史を有する社有林での林業経営・環境配慮 ✓ 再生可能エネルギー事業（太陽光発電・水力発電の連携等） ✓ 森林サービス産業（フォレストアドベンチャー、ハンティング等） ✓ 生態系保全（自然共生サイトへの登録）ほか
	インスタ投稿ワーク	気づきを「3つの資本」の観点で1枚ずつまとめて投稿等
	ふりかえり	各自の気づきを発表・共有し、感想を付箋に記してまとめ
夜	懇親会	社員同士のコミュニケーションを促進